

周南地域の野犬問題に関する連絡協議会（第11回会議）の開催について

周南地域の野犬問題解決に向け、関係者間の円滑な連携を通じて、実効性のある取組を推進するため設置した、周南地域の野犬問題に関する連絡協議会の第11回会議を次のとおり開催しました。

1 日 時

令和5年3月24日（金曜日） 午前10時から午前11時15分まで

2 場 所

県周南総合庁舎4階401会議室

3 出席者

委 員	備 考
山口県環境生活部次長	会長
周南市環境生活部長	副会長
周南市環境生活部環境政策課 課長補佐	代理
周南市都市整備部公園花とみどり課 課長補佐	代理
周南市教育委員会学校教育課長	
山口県警察本部周南警察署生活安全課長	
山口県周南環境保健所副部長	代理
山口県周南環境保健所生活環境課長	
山口県環境生活部生活衛生課長	

4 概 要

会議では、各機関が取組状況を報告し、課題を整理したうえで、今後の対応について、協議しました。

(1) これまでの取組

ア 野犬の捕獲 [県]

①捕獲体制

- しゅうなん通報アプリ等の情報を活用した巡回調査、捕獲の実施
- 捕獲檻の増設等（R1.8～）
- 周南緑地周辺に加え、より広域的な捕獲対応（R2.1～）
- 県と市で連携した合同捕獲の実施
- インターネットを利用した大型囲い檻の遠隔捕獲システムの導入
 - ・捕獲をコントロールできること等から、大型囲い檻の運用効率が上昇
 - ・周南市内において、成犬34頭を捕獲、うち緑地公園では19頭を捕獲

②捕獲実績（別紙参照）

捕獲頭数は、全体的に減少傾向にあるが、成犬の捕獲頭数は増加

イ 野犬への餌やり行為の対策 [市]

①餌やり禁止パトロール

むやみな餌やり禁止の観点から、大迫田共同墓地や周南緑地内を中心に巡回・指導を実施し、むやみな餌やり行為を抑止

○日中パトロール

- ・体制：市職員＋会計年度任用職員（2名体制）
- ・回数：182回（R4.4.1～R5.2.28）
- ・実績：餌やり注意6回（うち、指導指示書手交2回）、餌回収8回

○夜間パトロール

- ・体制：県及び市職員
- ・回数：19回（R4.4.1～R5.2.28）
- ・実績：餌やり注意2回（うち、指導指示書手交2回）、餌回収6回

○その他の取組

- ・外部委託による夜間の餌やり者の情報収集
- ・餌やり行為が疑われる場所での集中パトロールの実施

②公園・墓地内の管理強化

- 野犬が棲みにくい環境づくりのための草刈り：延べ約43,000㎡

ウ しゅうなん通報アプリ（野犬情報通報機能）の配信 [市]（R2.9～）

- 総ダウンロード数：6,578件（R5.2.28現在）
- 通報件数：675件（R4.4.1～R5.2.28）
- 情報は周南環境保健所と共有し、野犬捕獲や餌やり行為への対策に活用

エ 野犬対策への県民の理解促進と気運醸成に向けた取組 [県・市]

○野犬対策キャンペーンの実施

- ・R4.10.22 ゆめタウン徳山
- ・動物の遺棄・野犬へのむやみな餌やり禁止を啓発
- ・参加者：57名、啓発資材配布数：1,000セット

○ホームページ（HP）等による情報発信

- ・野犬対策や捕獲犬の譲渡の取組の積極的な周知・啓発
- ・県HPに周南地域の野犬対策のサイトを設置（R1.11.14～）
- ・市HPで周南市の野犬情報を発信
- ・周南環境保健所での犬猫の譲渡について、市広報誌への情報掲載

○野犬対策検討会の対面開催

- ・周南緑地周辺の自治会連合会長との意見交換会の開催

(2) 取組成果

野犬の捕獲頭数、保健所に寄せられる通報件数、しゅうなん通報アプリへの目撃情報のいずれも減少しており、これまでの対策強化に一定の成果

(3) 課題

依然として、市内各所から野犬に関係する情報が寄せられており、捕獲やむやみな餌やり行為禁止に向けた対策の強化が必要

(4) 今後の取組・対策

ア 【強化】野犬の捕獲〔県・市〕

- アプリの情報等を活用して、生息状況等を把握し、集中捕獲等の実施
- 記録型監視カメラによる野犬の行動実態分析
- インターネットを利用した大型囲い檻の遠隔捕獲システムによる捕獲の実施
- 通常の大型檻より間口、スペースの広い囲い檻の導入を検討

イ 【強化】むやみな餌やり禁止に向けた対策〔市・県・警察〕

- アプリの情報等を活用した、効果的・広域的な餌やり禁止パトロールの実施
- 餌やり行為を特定するための情報収集と行為者への厳格な指導・注意の実施
- 妨害行為者に対する警察との連携
- 防犯カメラを活用した餌やり行為の時間・場所の特定
 - ・従来から使用している防犯カメラよりも映像確認が効率的に行うことができるクラウド型の防犯カメラの導入を検討
- 地域との連携強化（餌やり情報の共有）
 - ・野犬の出没地域・餌やりが頻発している地域において、住民説明会や啓発チラシの配布等を検討

ウ 【継続】咬傷事故発生時の対応〔県・市・警察〕

- 周辺住民への注意喚起等
- 監視カメラ、しゅうなん通報アプリ等による野犬の出没状況の把握
- 咬傷事故発生場所における集中的な捕獲の実施

エ 【継続】野犬が棲みにくい環境づくりのための草刈り〔市〕

- 目撃情報等を参考に、棲みかとなる可能性が高い箇所を選定し草刈りを実施

オ 【継続】野犬情報の収集と配信〔市〕

- 「しゅうなん通報アプリ」の野犬通報情報を県と共有し、野犬対策に活用
 - ・野犬の出没時間、場所等の情報を分析し、効果的かつ効果的な野犬の捕獲
 - ・市民に通報場所等を示した地図情報を定期的に配信／被害防止への注意喚起

カ 【継続】野犬対策への県民の理解促進と気運醸成に向けた取組〔市・県〕

- 街頭における野犬対策キャンペーンの実施

(5) その他

次回会議の開催時期は、今後の取組状況等を踏まえ、関係機関で協議し、決定